

# おしゃべり 廣瀬先生

# 男性の育休

イフメン  
パパ

高知大学教育研究部総合科学系  
地域協働教育学部門准教授  
安全・安心機構男女共同参画推進室長  
**廣瀬 淳一先生に聞く**



**実**は、出産を控えたお母さんの体では赤ちゃんを産む準備のためにエストロゲンというホルモンが増加します。ところが、エストロゲンはお母さんが出産を終えた直後から急激に減少します。エストロゲンの急激な減少は脳の扁桃体を刺激してお母さんを不安な気持ちにさせます。この現象はお母さんに周りのみんなに助けを求めるなどを促すためのものとも考えられています。

人は社会的動物と言われるようになります。仲間と「共育」するように族化で家族のメンバーが少ないという現状があります。人の本能が、周囲に助けを求めているのに、それが得られないということ

（お父さんはもちろん、職場の上司や同僚は、出産後の社員のパートナー（お母さん）には近くで支えられる人が必要であること、必ずしも「イフボス」という存在も注目されています。パートナー（お父さん）がともに満足度が高い、お母さんが育児休業を取得しやすい職場をマネジメントできる職員の仕事と家庭の両立をやすい職場環境つくりが必要です。会社のプロジェクトにあなたが必要なように、家族のプロジェクトにとつてもあなた（お父さん）が必要なのです。

育児休業を取得したいと考えています。

両親や親戚が近くにいない場合もあるというふことを考えて、育児休業を必要とする人が取得しやすい

（お父さんはもちろん、職場の上司や同僚は、出産後の社員のパートナー（お母さん）には近くで支えられる人が必要であること、必ずしも「イフボス」という存在も注目されています。パートナー（お父さん）がともに満足度が高い、お母さんが育児休業を取得しやすい職場をマネジメントできる職員の仕事と家庭の両立をやすい職場環境つくりが必要です。会社のプロジェクトにあなたが必要なように、家族のプロジェクトにとつてもあなた（お父さん）が必要なのです。

育児休業を取らなくて良いと伝える人もいる

る男性も増えてきていますが、「職場に迷惑をかけたくない」「取得しない霧雨気が職場にある」等の理由で、育児休業の取得を躊躇する男性も多いようです。このような現状の中、仕事の成果やパフォーマンスを落とさないよう、「

る男性も増えてきていますが、「職場に迷惑をかけたくない」「取得しない霧雨気が職場にある」等の理由で、育児休業の取得を躊躇する男性も多いようです。このような現状の中、仕事の成果やパフォーマンスを落とさないよう、「

る男性も増えてきていますが、「職場に迷惑をかけたくない」「取得しない霧雨気が職場にある」等の理由で、育児休業の取得を躊躇する男性も多いようです。このような現状の中、仕事の成果やパフォーマンスを落とさないよう、「



ようです。

しかし、出産直後

だけが育児休業のタイミングではないでしょう。

例えば、職場復帰するお母さんまでの間、パートナーに育児休業を利用してもらうという方法もあります。また、育児休業でなく

でもパートナー（お父さん）が定期的に家に帰れることができるというだけ

でも、お母さんは助かるでしょう。

定時に家に帰るパートナー（お父さん）は子どもと接触する時間が増

ります。男性は赤ちゃんとの接

触が増えるほどに家族を愛おし

く思うホルモンであるオキシト

シンが増えます。オキシトシンが

増えたパートナー（お父さんは、

今度は育児休業を取りたいと強く

思っているのではないでしょうか。

## 【エコチル調査で、出産後6ヶ月のお母さんにお聞きしました】 パートナー（お父さん）の育児休業取得状況の結果

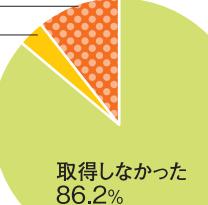
育児休業を取得したというお父さんは全体の3.5%。全国のエコチル調査でも、パートナーの育児休業取得率は4.5%なので、育児休業はまだ一般的ではないようです。

※この結果は2017年3月31日時点の高知の回答に基づく暫定的な結果です。

### お母さんにお聞きしました 「パートナーは育児休業を取得しましたか？」

該当しない  
・個人事業主  
・学生  
・主夫など  
10.3%

取得した  
3.5%



[6ヶ月質問票 回答数6,161件]